



1月号 令和6年1月9日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
TEL(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

鏡開き

校長 稲泉 功

新年が明け、令和6年となりました。ニュースでご存知のとおり、元日に能登半島で強い地震がありました。穏やかな新春を迎えているところに襲来した大地震、何人もの方が亡くなり、安否不明の方も多くいらっしゃいます。そして、現場では余震に警戒しながらの捜索活動が今も続いています。まずは、ここに、尊い命を亡くされた皆様に対し、哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた多くの皆様にお見舞いを申し上げます。

改めまして、旧年中は本校の教育活動に対し、温かなご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。年が改まり、私たち教職員も新たな気持ちで子供たちのために、務めを果たしていく決意です。保護者の皆様、地域の皆様には、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

旧年中は後半、インフルエンザが猛威を振るい、学級閉鎖や学年閉鎖の措置をとった場面がありました。例年ですと寒くなりはじめに「インフルエンザ第1号」と、新聞に取り上げられ、これからの流行に注意喚起するところですが、本年度は、暑い9月から断続的に発生し、「いつが始まり」であったかがわからないほどの流行状況でした。健康は、何より大切です。改めて、インフルエンザは風邪とは全く違うものであるということをしっかり認識し、感染予防をして下さい。空気の乾燥するこれからの季節は特に、手洗い・うがいはもちろんですが、部屋の換気、十分な睡眠、栄養のバランス、そして免疫力アップのためストレスをためないように心がけましょう。

さて、明後日の1月11日は古くから「鏡開き」の日とされています。「鏡開き」は、もともと新年の仕事や行事を始めるに当たっての儀式の一つです。「鏡」は大昔には銅などで作られ、神社の御神体とされた大変尊いもので、形が丸いことから円満を意味し、正月にお供えする丸い餅を「鏡餅」と呼んでいます。また、「開く」という言葉は末広がりのすなわち発展を意味します。どちらもおめでたい意味をもった言葉です。昔、武士の家では正月に鏡餅を供え、正月の11日にこれを割って食べるという習慣があり、これを「鏡開き」と言いました。現在でも、家庭や仕事場で年の初めに鏡餅を供え、一年の健康と発展を祝って供えた鏡餅を割ってお汁粉やお雑煮にして食べる「鏡開き」が正月の行事として受け継がれています。

これから始まる三学期は、生徒にとってまとめの大切な学期です。とりわけ3年生にとっては、中学校生活最後の時であり、自己の進路を決定する大切な時期です。何事にも悔いの残らないよう全力を出し切っていくことを願っています。また、1年生、2年生も進級を前にして、基礎的・基本的内容をしっかり定着させ、充実した生活を送ることを期待しています。

新年を迎え、生徒の皆さん一人ひとりが、今年の学校生活での努力や工夫の成果を踏まえ、新年を迎えての目標を掲げ、この新しい一年、健康で新たな成長ができることを祈って、心の「鏡開き」をしましょう。



「大気の動き」 ジグソー法で学ぶ
気象について複数の視点で構成したグループで、ipadを用いながら考察を他のメンバーと共有し、教え合う。その後、クラス全体で交換した情報を統合、理解を深めました。(2年 理科)